

# 第 22 回日本遠隔医療学会学術大会

## 募 金 趣 意 書

会 期：2018（平成 30）年 11 月 9 日（金）・10 日（土）

会 場：九州大学医学部百年講堂・同窓会館

大会長：第 22 回日本遠隔医療学会学術大会

清水 周次

（九州大学病院 国際医療部 教授

アジア遠隔医療開発センター センター長）

## ご 挨拶

謹啓 時下、貴下ますますご隆盛のこととお喜び申しあげます。平素より本学会への格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

この度、平成 30 年 11 月 9 日（金）と 10 日（土）の 2 日間にわたり、福岡市の九州大学医学部百年講堂・同窓会館におきまして、第 22 回日本遠隔医療学会学術大会大会長として開催させていただくこととなり、大変喜ばしく、また光栄に存じます。今回のテーマは、「広げよう遠隔医療！ 地域へ、そして世界へ」とさせていただきました。

遠隔医療は人の物理的な移動を伴うことなく、情報通信技術を活用して診療や医療教育に役立てようとするものです。そのため、時間的かつ経済的に大きなメリットが期待され、2001 年の e-Japan 計画当初より国の基本計画の大きな柱の一つとして成長してきました。専門医による放射線診断や病理診断、眼科や小児・婦人科領域での遠隔診療支援、また脳卒中や心疾患に代表される救急医療や災害の現場など、多くの領域でその利用が広がってきています。

本大会も 2005 年に設立され着実にその成果を上げていますが、学会会員数のみを取っていてもまだまだ小さなコミュニティーと言わざるを得ません。遠隔医療をさらに多くの医療関係者に知ってもらい、広く実用的なものにしてもらえる 1 つの機会になれば大変嬉しく思います。折しも、日本における遠隔「診療」への機運は今まさに高まりつつあります。平成 27 年 8 月に続き、平成 29 年 7 月にも厚生労働省医政局長通知で遠隔診療の大きな規制緩和が示唆され、さらに平成 29 年 6 月に発表された未来投資戦略 2017 では診療報酬化にも踏み込んだ記述があります。患者プライバシーや解決すべき技術的な課題、それらに対応する機器の開発、また期待される領域や活動を含め、様々な情報を元に遠隔診療について十分に議論できる機会を持つつもりです。

本大会の開催は福岡では初めてとなりますが、福岡の地は歴史的にも韓国や中国を始めとしたアジア地域との関係が深く、2002 年の日韓ワールドカップの開催を機に海外との遠隔医療が始まりました。地理的な観点で言えば国内でのレベルをはるかに超えるメリットが期待されますし、医療レベルの違いを考えればそのニーズにも国内の状況とは違ったものが数多く存在しています。幸運にも今回は第 12 回アジア遠隔医療シンポジウムとの共同開催となり、海外からも多くの発表が期待されています。日本でこれまで蓄積された遠隔医療の実績を共有すると共に、今後は海外との遠隔医療を推進できる契機にもなればと思います。

さて本大会の運営につきましては、できるだけ簡素でしかも内容が充実したものを旨といたしたいと思っております。しかしながら、参加者からの会費だけではまかないきれないのが現状でございます。諸経費ご多難の折、誠に恐縮でございますが、本会の趣旨にご賛同いただき、貴社よりのご支援を賜りたく存じます。何卒ご高配の段、よろしくお願い申しあげます。

本来ならば参上し、拝眉の上お願いすべきことではございますが、本書面を借りて御高配と御援助の程衷心よりお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社の益々のご発展を祈念いたしております。

謹白

平成 29 年 12 月 吉日

第 22 回日本遠隔医療学会学術大会  
大会長 清水 周次  
(九州大学病院 国際医療部 教授／アジア遠隔医療開発センター センター長)



## 開 催 概 要

1. 会議名称： 第22回日本遠隔医療学会学術大会  
(合同開催 第12回アジア遠隔医療シンポジウム)
2. 主催機関及び責任者名：  
第22回日本遠隔医療学会学術大会  
大会長 清水 周次  
(九州大学病院 国際医療部 教授  
アジア遠隔医療開発センター センター長)  
  
プログラム委員長 中島 直樹  
(九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター 教授  
国際診療支援センター センター長)  
  
実行委員長 森山 大樹  
(九州大学病院 光学医療診療部 准教授  
海外交流センター 副センター長)
3. 会 期： 2018 (平成30) 年11月9日 (金)・10日 (土)
4. 会 場： 九州大学医学部百年講堂・同窓会館  
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
5. 開催目的と意義：  
本会は、遠隔医療および関連領域に関与あるいは関心をもっている国内・海外の医師、コメディカル、関連企業から、遠隔医療および関連分野に関する最新情報の提示を求め、その内容を討論することにより、遠隔医療の発展と効率的な普及を推進し、社会に貢献することを目的としています。
6. 参加者数： 約300名
7. 学会ホームページ：  
<http://www.congre.co.jp/jtta2018/>
8. 開催実績 (過去5回)：  
第17回 2013年10月 高松 大会長：原 量宏 (徳島文理大学・香川大学)  
第18回 2014年10月 長崎 大会長：本多 正幸 (長崎大学)  
第19回 2015年10月 仙台 大会長：渡辺 みか (東北大学病院)  
第20回 2016年10月 米子 大会長：近藤 博史 (鳥取大学)  
第21回 2017年9月,10月 宇都宮 大会長：坂田 信裕 (獨協医科大学)
9. プログラム概要：  
特別講演・シンポジウム・ワークショップ・分科会・  
一般演題 (A・B)・ランチョンセミナー・機器展示 ほか

10. 事務局連絡先：

第 22 回日本遠隔医療学会学術大会 運営事務局

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-9-17-11F

株式会社コングレ 九州支社内

TEL：092-716-7116 FAX：092-716-7143

E-mail：jtta2018@congre.co.jp

# 収 支 計 画

## 収入の部

費用項目	金 額	積算内訳
1. 参加費	3,170,000	【事前参加】正会員10,000円×70名、非会員 12,000円×60名、学生会員3,000×4名 【当日参加】正会員12,000円×30名、非会員 14,000円×60名、学生会員3,000×6名 懇親会【事前参加】6,000円×60名 【当日参加】8,000円×20名
2. 出展料	6,000,000	20小間
3. 学会補助金	300,000	
4. 共催金	3,200,000	1,000,000円×2枠、600,000円×2枠
5. 抄録集広告料	1,090,000	表4 (150,000円×1件)、表3 (100,000円×1件)、 表3対向 (80,000円×1件)、後付1頁 (70,000円×8件)、 後付1/2頁 (50,000円×4件)
6. 寄付金	500,000	
合 計	<b>¥14,260,000</b>	

## 支出の部

費用項目	金 額	積算内訳
<b>1. 事前準備費</b>	<b>3,810,000</b>	
① 事務費	920,000	事務局人件費、共催・展示事務局人件費 など
② 演題処理費	430,000	演題処理費、プログラムデータ・採否結果入力・通知処理・リスト作成 など
③ プログラム抄録集関係費	1,020,000	抄録集印刷費、前付け作成、校正費、パンフレット作成費 など
④ ホームページ関係費	400,000	基本デザイン構築費、各ページ作成費、システム管理費 など
⑤ 事前参加登録関係費	480,000	登録システム費、受付データ管理費 など
⑥ 制作物関係費	320,000	募金趣意書、各種募集要項、演題募集ハガキ、各種封筒、ポスター作成費 など
⑦ その他・備品等	240,000	各種レター・案内・抄録集発送費、委員会開催費 など
<b>2. 当日運営費</b>	<b>9,020,000</b>	
① 会場費	850,000	九州大学医学部百年講堂・同窓会館
② 機材費	2,390,000	プロジェクター、PC、プレゼンシステム、レーザーポインタ、計時回線、PC受付用機材、設営、撤去、運搬費など
③ 看板装飾費	480,000	吊看板、立看板、案内・誘導板、ポスターパネル、設営、撤去、運搬費 など
④ 機器展示関係費	1,340,000	基礎小間設営、仮設電源工事、廃材処理費、設営、撤去、運搬費 など
⑤ 運営人件費	1,030,000	ディレクター、アシスタントディレクター、PCオペレーター など
⑥ その他・備品等	550,000	トランシーバー、氏名掲示、ミネラルウォーター、感謝状 など
⑦ 謝金・招聘費	780,000	謝金・旅費・宿泊費
⑧ 会合費	1,600,000	関係者昼食弁当代、ドリンク代、懇親会費用など
<b>3. 事後処理費</b>	<b>80,000</b>	礼状印刷、発送費 など
<b>4. 業務委託費</b>	<b>820,000</b>	コンベンション会社業務委託経費
<b>5. 予備費</b>	<b>530,000</b>	
合 計	<b>¥14,260,000</b>	

## 寄付金の募集要項

本大会に対する寄付金は、本大会口座へ直接ご入金をお願いいたします。

### ●ご入金方法

1. 主催団体および代表者 :  
第 22 回日本遠隔医療学会学術大会  
大会長 清水 周次  
(九州大学病院 国際医療部 教授  
アジア遠隔医療開発センター センター長)
2. 募 金 目 的 : 第 22 回日本遠隔医療学会学術大会 運営のため
3. 募金の目標額 : 500,000 円
4. 募 集 期 間 : 平成 30 年 11 月 30 日 (金) まで
5. 寄付金申込先 : 第 22 回日本遠隔医療学会学術大会 大会事務局  
九州大学病院 アジア遠隔医療開発センター  
〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1  
FAX:092-642-5087
6. 寄付金振込先 :  
銀行名 : 福岡銀行 県庁内支店 (店番 : 213)  
口座番号 : 普通 1195065  
口座名義 : 第 22 回日本遠隔医療学会学術大会 大会長 清水 周次  
(ダイニジユウニカイニホンエンカクリョウカクカカクジ ユツタカイ タカイチヨウ シミス シュウジ)

<注> ご寄付いただく際、次ページの寄付金申込書を「第 22 回日本遠隔医療学会学術大会 大会事務局」まで FAX (092-642-5087) した後、お振り込みをお願い致します。

※寄付申込書の提出がない場合、領収書の発行が遅れますので宜しく願い申し上げます。

第22回日本遠隔医療学会学術大会 事務局 宛へ FAX にてご通知ください。

**FAX番号 092-642-5087**

## 寄付金申込書

第22回日本遠隔医療学会学術大会  
大会長 清水 周次 殿

第22回日本遠隔医療学会学術大会の目的、事業に賛同し、その運営資金として  
下記の金額を寄付します。

平成 年 月 日

個人の場合 ふりがな氏名： \_\_\_\_\_

法人の場合 ふりがな法人名： \_\_\_\_\_

ふりがな代表者： \_\_\_\_\_

ふりがな担当者： \_\_\_\_\_

※下記に領収書の送付先をご記入ください。

住所：〒 \_\_\_\_\_

Tel : \_\_\_\_\_ Fax : \_\_\_\_\_

記

金額 \_\_\_\_\_ 円

払込方法	一括払		平成	年	月	日
	分割払	第1回	平成	年	月	日
		第2回	平成	年	月	日
		第3回	平成	年	月	日